

成田を軍事基地に してはならない！

「朝鮮有事に40万米軍が飛来」

ペリー元国防長官が証言（**作戦計画** 5027）

米韓日による北朝鮮への戦争挑発を弾劾する

- 「1994年の朝鮮危機の際、40万人の米兵を増派する計画だった」
- 「港湾、空港の軍事使用を細川内閣に要請した」
- 「順次、日本を經由して朝鮮半島に送り込む方針だった」

日本経済新聞の「私の履歴書」でW・ペリー元国防長官が証言（12月2日付）



インド地震救援を口実に成田空港に飛来した6機の自衛隊C130機（2001年2月4日）。「民間空港」といえども一瞬にして軍事空港に変貌する

11月23日に起きた韓国と北朝鮮の軍事衝突で、戦争の危機が迫っています。この起こりは、アメリカ、韓国、日本（沖縄など基地を提供）による軍事圧力に追いつめられた北朝鮮の暴走です。「北朝鮮を意図的に挑発した」との指摘すらなされているように、主導しているのは米韓日なのです。

米韓は、3月8日から10日間、軍事演習「キーズルブ」を行い、7月25日から28日までは、空母ジョージ・ワシントンを中心とした史上最大の合同演習を実施しました（これには自衛隊も参加）。8月16日から26日にも合同演習を行い、9月には黄海での合同演習を行いました。ひっきりなしに北朝鮮への軍事圧力を強めてきたのです。

●戦争反対の声をあげよう

米軍は成田空港を朝鮮半島有事の際の戦略的な空輸基地に位置付けています。ペリー元国防長官が最近証言しました（左上記事参照）。これが作戦計画5027です。一方、2001年には航空自衛隊機が成田空港に飛来しました（左写真）。「民間空港」も一瞬にして軍事空港に変貌します。（「成田空港の軍事使用」も私たちが空港建設に反対してきた理由の一つです）

深まる世界恐慌のもとで米中などが激しく対立しています。そのさなかの朝鮮半島で軍事衝突！戦争の危機です。今こそ、戦争反対！成田空港の軍事使用許すな！の声を上げよう。

（12月1日）